

## 2017 年度特別研究支援経費審査要領

### 1. 審査の基本方針

本学における教育・研究の充実・発展が見込める研究プロジェクトを選定する。

- (1) 本学の研究基盤の高度化に資するもの
- (2) 本学の教育の質の向上に資するもの
- (3) 独創性、萌芽性のあるもの
- (4) 若手研究者（2017年4月1日現在において39歳以下）で研究上のリーダーシップを発揮することが期待されるもの

### 2. 審査の方法

#### (1) 審査方法

- ①審査における具体的な方法や共通の基準等を確認・決定するため、特別研究支援経費審査委員会（以下「委員会」という。）を設置する。
- ②委員会は、書面審査およびヒアリング審査を実施する。
- ③委員会は、順位付けした審査結果をとりまとめ、2017年6月30日までに採否を決定し公表する。

#### (2) 審査手順

##### ①書面審査

委員会は、別途定める審査基準にしたがって書面審査を実施する。

##### ②ヒアリング審査

委員会は、①の審査結果に基づきヒアリング対象を選定し、別途定める審査基準にしたがってヒアリング審査を実施する。

##### ③審査結果のとりまとめ

委員会は、ヒアリング審査終了後、審査委員の評価に基づき審査結果をとりまとめ、採否とともに配分額を決定する。

#### (3) 審査基準

審査の基本方針等を踏まえ、以下の点について審査を行う。

##### ①研究目的・内容

- ・研究目的は具体的かつ明確であるか。
- ・独創性または新規性があるか。
- ・各研究分野における重要性が高いか。
- ・教育的課題・ニーズに対応した内容か。

##### ②実現可能性・将来性

- ・目的および目標が具体的かつ明確に設定され、かつ実現性が高いか。
- ・目標達成のために妥当なスケジュールとなっているか。

- ・研究推進のための効率的な実施体制は確立されているか。
- ・これまでの成果から、将来、卓越した業績を上げる可能性が見受けられるか。

③社会的効果等

- ・研究成果が、各研究分野の振興・発展に役立つか。
- ・教育的課題・ニーズへの貢献は期待できるか。

④総合評価（①～③の項目を含めた総合評価）

(4) 評価

①～③研究目的・内容、実現可能性・将来性、社会的効果等

次の3段階で評価を行う。

- A 優れている
- B 普通である
- C 不十分である

④総合評価

次の3段階で評価を行う。

- A 研究目的・内容も評価でき、成果が十分期待できるため積極的に採択すべき
- B 研究目的・内容もおおむね評価でき、成果も期待できるため採択してもよい
- C 研究目的・内容等、不十分な点があるので採択しない

(5) 推薦順位

評価した研究プロジェクトの順位付けを行う。

### 3. その他

(1) 審査委員の留意事項

①利害関係者の排除

審査委員が、応募者との関係において、次に掲げるものに該当すると自ら判断する場合には、審査に加わらないこととする。

- ・親族関係もしくはそれと同等の親密な個人的関係
- ・密接な師弟関係もしくは直接的な雇用関係
- ・その他、研究プロジェクトの採否が審査委員の直接的な利益につながると見なされるおそれのある関係

②参考情報の取扱い

審査委員は、研究プロジェクトの内容に応じた専門家による書面レビューの結果を、審査の参考とすることができる。

③秘密保持

- ・審査委員は、審査（書面審査を含む）の過程で知り得た個人情報および審査内容に係る情報について外部に漏らしてはならない。

- ・審査委員として取得した情報（応募書類等各種資料を含む）は、他の情報と区別し、善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

## （2）開示・公開等

### ①通知

審査結果は、審査手続き終了後、各学部総務課を通して速やかに応募者に通知する。その際、不採択となったプロジェクトに対しては不採択理由を通知する。なお、審査結果について、不服申立ての受付は行わない。

### ②公表

学部長は、審査手続き終了後、大学協議会にて審査結果を公表する。

2017年度特別研究支援経費 審査調書

審査委員名	印
-------	---

※押印願います

No.						
研究テーマ (種目を○で囲む)						
	研究基盤の高度化		教育の質の向上		独創性・萌芽性	若手研究
研究代表者	所属		職名		氏名	
申請額	千円					

審査内容

審査項目	審査項目	評価	意見
①研究目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究目的は具体的かつ明確であるか。</li> <li>・独創性または新規性があるか。</li> <li>・各研究分野における重要性が高いか。</li> <li>・教育的課題・ニーズに対応した内容か。</li> </ul>		
②実現可能性・将来性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的および目標が具体的かつ明確に設定され、かつ実現性が高いか。</li> <li>・目標達成のために妥当なスケジュールとなっているか。</li> <li>・研究推進のための効率的な実施体制は確立されているか。</li> <li>・これまでの成果から、将来、卓越した業績を上げる可能性が見受けられるか。</li> </ul>		
③社会効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究成果が、各研究分野の振興・発展に役立つか。</li> <li>・教育的課題・ニーズへの貢献は期待できるか。</li> </ul>		
④総合評価	①～③の項目を含めた総合評価		

推薦順位  位

採択額 (決定時に記入)	千円
-----------------	----